

6月号



# 学習通信 STEP UP



**英単語って、どうやったら覚えられるの？**

今回は、英語の勉強方法を特集します。多くの生徒が苦手？としている、英単語。その覚え方について、三中の英語の先生方に聞いてみました。**勉強方法は1つではありません。みなさんに合った勉強方法を見つけることも、勉強なのです。勉強に対しては、受け身になってはいけません。学びの主役はみなさんなのです。**いろいろ試して、勉強を楽しんでくださいね。

## A先生の単語の覚え方

中学生の時は英語の時間に英単語を学習したら、その日のうちに5回ほど書き取りをして覚えていました。覚えにくい単語は10回くらい書いて覚えていました。英語教師をしていて、今考えている効果的な覚え方は「発音しながら書くこと」です。ブツブツと英語を発音しながらノートに書くと、ノートに話しかけているようで周りから心配されるかもしれませんが、発音も単語も覚えられて一石二鳥です。

## B先生の単語の覚え方

学生の頃は、自分で単語帳を作っていました。簡単に覚えられる単語は含めず、「すぐに忘れてしまう、でも重要単語」に出会う度、単語帳の中身を増やしていました。それを、朝起きて1回、お風呂の中で1回、寝る前に1回と、発音したり、スペルを言ってみたり、日本語の意味を確認したりして、とにかく覚えるまでは毎日2～3回はやっていました。だいたい覚えてきたら、一日おきにするなど、「毎日やらなかったら、どれくらい忘れるのかな」と実験するのも良いと思います。また、本文を音読する中で英単語を覚えています。本文の内容と関連しているため、単語の意味をスムーズに覚えることができます。ちなみに、意味を想像しながら音読しています。単語の発音がうまくできるようになると、つづりも書けるようになります。(現在もこの方法で勉強しています)

## テスト解答のちょっとしたテクニック

国語や英語では、先に設問を読んでから英語の長文や国語の説明文などを読むことをお勧めします。設問を先に読んでおけば、「こんなことを後で聞かれる」と心づもりをして、長文や説明文を読めるからです。そして設問として尋ねられている箇所を見つけたら、長文や説明文に線を引ながら読むことで、後から読み返すこともできます。ぜひ、次回の国語・英語のテストでこのテクニックを使ってみてください。

## テスト直してどうやるの？



みなさん、テストは返却されましたか。はっきり言います。実はそのテスト、「宝」が詰まっています。

### 「テスト結果の見直し」が大切な理由

真面目な三国中学校の生徒達なら、テスト前はたっぴりテスト勉強をしてテストに臨んだはずですが。

ただ、大切なのはここからです。テストが返却されて点数に一喜一憂するのもよいですが、もう1つレベルを上げて、テストを学力アップに利用しましょう。今回は、テスト直しの方法についてお伝えします。

そもそもテストは、**あなたがどんな問題を解けて、どんな問題ができないのか、どこでつまづいていているのかチェックするための用紙に過ぎません。**テストが返ってきたら、まずはどの問題を間違えたのかを振り返り、分析しましょう。

テストで正解できなかった原因は、大きく2つのパターンに分けられます。

- ・ 解き方を理解できていない
- ・ 見たことはあるはずなのに解き方を間違えてしまった＝わかったつもりになっている

間違えた問題やそのパターンを重点的に分析、対策することで成績アップが狙えます。

このように、テストの答案には「成長のヒント（宝）」が詰まっているのです。一つずつ見ていきましょう。



### 「解き方を理解できていない」について

「そもそも全くわからなかった」という場合は、基本から覚え直します。特に、国語・数学・英語といった「積み上げ教科」に関しては、**前の学年に戻って復習しなおします。**中3なら、中2・中1から復習しましょう。**前の学年に戻って学びなおすことは恥ずかしいことではありません。わからないことをわからないままに放置することのほうがよっぽど恥ずかしいことです。**自分だけでわからない場合は、先生に質問したり、友人に聞いたりするのもおすすめです。**先生方は、みなさんの質問を待っています。**みなさんが質問をすると、「ここがまだ理解できていないんだな」と、先生方は次回の授業を工夫します。わからないところを放っておかず質問をする癖をつけましょう。

### 「見たことはあるはずなのに解き方を間違えてしまった」とは



できるつもりになっているのに問題が解けないのは、**授業や家庭学習での知識が定着していないのが原因です。**授業で理解した知識を定着させるために、まずは教科書を見直して問題を解き直すだけでなく、ワークの類題も解くようにしましょう。これは、**何度も解きます。ワーク類がボロボロになるほど解きなおします。そうして自分の力になります。**一度解いただけでできるようになることはないと考えましょう。また、自分が覚えた知識を友人に説明することもおすすめです。誰かに説明することで知識が定着するだけでなく、自分があやふやになっていることにも気づくことができます。